

海外安全対策情報（2023 年 1 月～6 月）

1 社会・治安情勢

ニカラグアでは、デモ・集会等の実施には警察の許可が必要であり、現在、取締り強化のため許可が下りないことから、反政府団体による大規模な抗議運動は発生していません。しかし、突発的に抗議運動が発生する可能性は否定できませんので、最新情報をインターネット、SNS等でご確認ください。

治安情勢は、300 人以上の死者を出したとされる 2018 年の社会騒乱からは落ち着きを取り戻しましたが、2020 年ハリケーン被害による経済の失速、新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済的な苦境が続く中、断続的に大量の一般囚人を恩赦で釈放したこともあり、犯罪の認知件数が上昇するなど治安情勢の悪化が見られます。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）一般犯罪凶悪犯罪の傾向

ニカラグアでは、バイクに乗った男二人組による路上強盗、タクシー強盗、バス内での拳銃を使用した強盗、コンビニ強盗等が発生しています。犯人は必ず拳銃、刃物等の凶器を携帯し、被害者が抵抗した場合、容赦なく攻撃するので、万が一被害に遭ったときは、絶対に抵抗しないことが重要です。さらに、強盗等の被害事例を分析すると、日時・場所を問わず路上を歩行中に被害に遭うことが多いため、移動の際にはたとえ短い距離であっても車両を利用することをお勧めします。

（2）日本人の被害例

ア 2022 年

● 窃盗（ひったくり）

3 月 10 日（木曜日）午後 6 時 30 分頃、マナグア市において、被害者が窓を開放したタクシー内でスマートフォンの画面を見ていたところ、信号で停車した際、徒歩で近づいた若者から突然スマートフォンをひったくられる盗難被害にあった。

● 窃盗（置き引き）

3 月 17 日（木曜日）午後零時頃、マナグア県ポチョミル海岸において、被害者がサーフィンをしている際、浜辺に置いておいたバッグ内の携帯電話をバイクに乗った若者に盗まれた。

イ 2020 年

● 窃盗（客室狙い）

9 月 11 日（金曜日）午後 1 時から午後 6 時 30 分までの間、マナグア市内のショッピングセンター「メトロセントロ」付近のアパートにおいて、被害者が外出

した間に何者かに侵入され、スーツケース在中の現金を盗まれた。

ウ 2019 年

● 窃盗（置き引き）

10 月 8 日（火曜日）午後 4 時頃、被害者がリバス県からコスタリカ行きのバスに乗車し、旅券・現金・パソコン・カード類等在中のリュックサックを網棚に乗せていたところ、盗難被害に遭った。

エ 2018 年

● 恐喝

3 月 14 日（水曜日）午後 8 時 30 分頃、被害者がマナグア市ロス・ロブレス地区の路上を単独で歩行中、前方から来た男に所持していたカバンを渡すよう要求されたため、即座に鞆を差し出したところ、男は危害を加えることなく、仲間の男と共にバイクで逃走した。

● 強盗（拳銃使用）

6 月 6 日（水曜日）午後 2 時 30 分頃、被害者 2 名がマナグア市ビジャ・サントフェ地区の路上を歩行中、後方から来たバイクに乗った二人組に拳銃を突きつけられたため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなくバイクで逃走した。

● 強盗（刃物使用）

12 月 14 日（金曜日）午後 6 時頃、マナグア市内のショッピングセンター「ガレリア・サント・ドミンゴ」付近路上を被害者 2 名が歩行中、若い男ら 5、6 名が後方から徒歩で接近し、ナイフを突きつけて脅迫したため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなく逃走した。

（3）2023 年 1 月から 6 月に発生した凶悪犯罪の例

ア 警察官に対する銃撃・略取等

1 月 8 日（日）午後 3 時 30 分、セバコ-マタガルパ街道グアヤカン分岐点で、交通警察が検問のため、4 人の男が乗った乗用車を停止させたところ、運転手と男 1 名が降車し女性警察官の銃を奪い他の警察官との撃ち合いとなった。男 2 名は通りがかった車両を奪い、女性警察官を連れて逃走した。男らは別の誘拐事件にも関与していたとみられており、車内から受け取った身代金とみられる 405,000 コルドバが見つかった。他の男 2 名はその場で逮捕された。

イ 強盗・殺人

1 月 10 日（火）夜間、カラソ県ヒノテペ-サンマルコス街道で、夫婦がバイクで帰宅していたところ、バイクに乗った二人組が携帯電話を奪おうとしたが、男性から抵抗されたため、男性の右腹部に発砲し逃走した。男性は病院に運ばれたが、その後死亡した。

ウ 強姦・殺人

1月13日（金）リバス県カルデナス市の農場で、農場主の女性（57歳）が半裸状態で死亡しているのが発見された。性的暴行を受けた後、殺害されたとみられている。女性はいつも早朝決まった時間に牛の世話のため農場に出かけていた。

エ 誘拐

2月3日（金）夜間、南カリブ沿岸自治区ブルーフィールズ市で男性2名が出かけた後行方不明になり、同日家族に身代金50万コルドバを要求する電話があった。後に身代金を取りに来た犯人らは逮捕され、5日、男性らは無事に救出された。

オ 誘拐

2月5日（日）午後2時、マナグア市第7管区バリオ・イスラエルガレアノで、12歳の少女が自宅から出た後行方不明になった。近所の防犯カメラには少女が自宅を出て歩道を歩いているところに車が近づき、少女を乗せて走り去る様子が映っていた。

カ 強盗・殺人

2月20日（月）未明、マナグア市第6管区バリオ・アルノルドアレマンの道路上で女性（31歳）が血を流して死亡しているのが見つかった。女性は誕生日会に出席した後、タクシーに乗って帰宅したところまでは確認されていた。女性の財布、携帯電話などの所持品は見つかっていない。

キ 警察官に対する銃撃

2月21日（火）午後1時、ヒノテガ県サンホセデボカイ市 Comunidad Alto Wangky で、警察官らが武装した8人組から襲撃され、警察官1名が死亡した。この地区では2年前に先住民の居住地区に武装した者らが侵入し、先住民指導者を殺害した事件が起きており、警察官らは、侵入者らに立ち退きを命じる任務に就くところであった。

ク 警察官に対する銃撃

2月22日（水）夜間、ヌエバセゴビア県シウダアンティグア市 Comarca La Laguna で警察官と麻薬密売人の間で銃撃戦があり、密売人の男3人が死亡、男1名と警察官2名が重傷を負った。男4名は兄弟で、麻薬を移送する途中警察官に見つかり、所持していたショットガン、拳銃、山刀、ナイフ等で警察官に反撃したとされる。

ケ 強盗・殺人

4月9日（日）午後、マナグア市第1管区オリエンタル市場近くで、男1名が男性（67歳）の携帯電話を盗もうとしたが、男性から抵抗されたため刃物で男性の腹部を刺した。その後男性の死亡が確認された。

コ 殺人

4月10日（月）午後6時半頃から行方不明になっていた18歳女性の遺体が12日、マナグア市第3管区バジェデティコモの空き地の水路で見つかった。女性は仕

事の面接に行くといって出かけたまま行方不明になっていた。

サ 殺人未遂

6月4日（日）午前2時30分頃、マナグア市マサヤ街道を北から南へ走行していた乗用車がビビアンペラス病院前の信号で停車したところ、突然何者かに発砲され、運転手は顔、首、背中、手などに8発の銃弾を受け重体。2名の少年が腕と足に銃弾を受け軽傷を負った。直前に男性らが飲んでいてバーで何者かと口論になったとのことであるが、犯人との関係性は不明。

3 テロ・爆弾事件発生状況

発生なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

（1）日本人・外国人に対する誘拐事件

認知していない

（2）ニカラグア人に対する誘拐事件

2022年中の身代金目的誘拐の認知件数は6件

5 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業が直接標的とされた脅迫、破壊行為、嫌がらせ、バッシング、デモ等は認知していない